

令和2年度第1回

24時間いつでもコール偕楽園 介護・医療連携推進会議資料

日程：令和2年5月29日（金）

*新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、密を避ける観点から書面による会議とさせていただきます。尚、流行状況が落ち着き、対面での会議の開催が可能な状態となった場合には、今回とは別途で皆様にお集まりいただいた上での会議を年2回（夏頃と年明けを予定）開催させていただきたいと思っておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

議題

1. 本会議の目的、構成メンバー等
2. 事業所の概要等
3. 料金体系
4. 活動状況
5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護導入事例
6. 事故、ヒヤリハット、苦情、困難事例等
7. ご家族、地域から事業所への要望・質疑等

はじめに

令和2年2月1日より定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを提供する「24時間いつでもコール偕楽園」を開設致しました。管理者の神宮由香と申します。今後ともよろしく願いいたします。また、この度は当事業所の設置、運営する「介護・医療連携推進会議」のメンバーとしてご協力いただけましたこと、心より御礼申し上げますとともに、本来であれば皆様お集まりいただいた上で事業所情報を公開し、また、様々なご意見をいただきながら運営の見直しを図っていくべきでございましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多数が集う会議は自粛せざるを得ない状況、また、先の読めない状況でもあることから、この度は書面開催とさせていただきますことをお詫び申し上げます。

24時間いつでもコール偕楽園は、重度化しても在宅で生活を続けたいという利用者様の要望を可能な限り実現するため、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」というサービスを提供しております。事業開始して間もなく、まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることもあろうかとは存じますが、皆様のご協力を得ながら、地域の皆様のお力になれるよう努力して参ります。

本資料は、運営を開始し、3ヶ月を経過したこともあり、現在の運営状況を掲載させていただいております。ご不明な点やご意見等がございましたら資料の「次第7. ご家族、地域から事業所への要望・質疑等」に記載の上お送りいただくか、お電話にて下記までご連絡いただければ幸いです。

今後とも宜しく願い致します。

[連絡先]

社会福祉法人亀鶴会

24時間いつでもコール偕楽園

管理者 神宮 由香

TEL：0977-75-8816

FAX：0977-76-5889

1. 本会議の目的、構成メンバー等

①本会議の目的

本会議は、「指定地域密着型サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例」及び「指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例」の規定に基づき、利用者の家族や地域住民の代表者等に提供しているサービス内容を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的としております。従いまして、自治会との情報共有の場、利用者、また、利用者ご家族様からの貴重なご意見を伺う場、別府市、また、地域包括支援センター、訪問看護ステーションとは意見交換や評価をいただく場、原嶋内科医院とは医療面、また、感染症の流行情報等を共有する場として本会議を活用して参りたいと考えております。

②開催頻度

おおむね6カ月に1回

(年2回、5月、11月を予定しております(今年度は新型コロナウイルス感染症により本回とは別途で夏と年明けに予定))

③構成メンバー

種別	人数
利用者又は利用者のご家族	1名以上
南荘園町自治会	1名
原嶋内科医院(主に医師)	1名
別府市青山東山地域包括支援センター	1名
かがやき訪問看護ステーション	1名
訪問看護ステーションひまわり	1名
別府市高齢者福祉課	1名
24時間いつでもコール偕楽園管理者	1名
24時間いつでもコール偕楽園計画作成責任者	1名以上

2. 事業所の概要等

①事業所の概要

法人名	社会福祉法人亀鶴会	
サービス種別	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（連携型）	
事業所名	24時間いつでもコール偕楽園	
管理者名	神宮 由香	
事業開始年月日	令和2年2月1日	
事業所番号	4490200302	
事業所所在地	別府市大字南立石2170番地の33	
電話番号	0977-75-8816	
FAX番号	0977-76-5889	
職員数（実人数）	16名（常勤、非常勤含む）	
職員数内訳（いずれもヘルパーステーション偕楽園職員を兼務）	管理者	1名（常勤）
	計画作成責任者	4名（常勤）（内1名管理者兼務）
	オペレーター	6名（常勤4名、非常勤2名）（内1名管理者兼務）
	訪問介護員（定期・随時）	16名（常勤、非常勤含む）（内、1名管理者兼務）
連携先訪問看護ステーション	かがやき訪問看護ステーション	訪問看護ステーションひまわり
協力医療機関	原嶋内科医院	

②サービスの概要

- | |
|--|
| <p>①24時間定期、随時の訪問介護、看護サービスを提供し、利用者の在宅生活の継続を支援する。</p> <p>②別府市に居住し、要介護度1から5の認定をお持ちの方がご利用できます。</p> |
|--|

3. 料金体系

ご利用料金は下記の通りです。1月包括報酬となりますので、1月に何度訪問させていただいても基本のご利用料金が変わらない点が大きな特徴です。

【連携型訪問介護費】（24時間いつでもコール偕楽園算定分）

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護（Ⅱ）（1月につき）

要介護度	料金（下記は1割負担の金額）
要介護1	5,680円
要介護2	10,138円
要介護3	16,833円
要介護4	21,293円
要介護5	25,752円

②減算（通所系サービス及び短期入所系サービスを利用した場合）

通所系サービス	当該月の通所系サービスの利用日数に所定単位数を乗じて得た単位数を減じる
短期入所サービス	短期入所系サービスの利用日数に応じた日割り計算を行う

③加算

加算名	内容
初期加算	利用開始した後30日以内の期間1日につき30円
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	算定した単位数の1000分の137に相当する金額
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）	算定した単位数の1000分の42に相当する金額

【連携型訪問看護費】（その他加算あり）（連携先訪問看護ステーション算定分）

要介護度	料金（下記は1割負担の金額）
要介護1～5	2,945円

4. 活動状況

①利用者状況

(令和2年5月15日現在)

利用者数	6名			
利用者の居所・人数	在宅	6名	施設	0名
利用者の要介護度、男女別人数	要介護度		男	女
	要介護1		—	1名
	要介護2		1名	—
	要介護3		—	1名
	要介護4		1名	2名
	要介護5		—	—
	計		2名	4名

②訪問回数等

	2月	3月	4月	5月(見込み)
総利用者数 (末日時点)	0	3	5	6
月総訪問回数	0	220回	305回	509回
1人当り月平均利用時間	0	約21時間	約17時間	約12時間

5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護導入事例

事例①

A氏 86歳 男性

(既往歴・病名等)・第一腰椎圧迫骨折・関節リウマチ・左足膝関節プレートを挿入

令和1年8月、更衣中転倒され第一腰椎圧迫骨折にて入院される。

リハビリ後在宅復帰。

本人は施設入居を希望したが、ご家族の強い要望もあり、在宅にて訪問介護、デイサービス、福祉用具を利用しながら生活されていた。しかしながら、在宅にて転倒されたときのことや、奥様の介護負担軽減等を考慮され、当事業所の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに切り替えを行われた。

寝室からリビングまで30歩程あるため、お一人での移動は困難である。また、ベッドからの起き上がりもお一人では困難なため介助が必要。立ち上がりについては、ポジションバー等の利用で一部介助。歩行はヘルパーが後ろから支え、介助が必要な状態である。(円背あり、前傾姿勢になるため転倒のないよう注意が必要)

サービスは7時00分、10時30分、13時00分、15時30分、18時00分、21時00分にてベッドからの起床介助、ポータブルトイレ介助、パット交換、清拭、寝室からリビングへの移動を繰り返し行っている。サービス開始当初に比べ、歩行回数が増えたためか足の運びは改善傾向にある。入浴は週2回のデイサービスにて実施している。緊急時の随時対応については、コールを押していただき、排便時の対応、深夜のオムツ交換等の対応を行っている。

今後は、介護者に安易な介助方法等の指導や助言を少しずつ行うことで、少しでも介護者で対応ができるようになってくれば訪問回数の減少も検討できるが、A氏の主訴である「家族に迷惑をかけたくない」という意向も踏まえ、現状を維持しつつサービスの提供を行っていく。

事例②

B氏 74歳 女性

(既往歴・病名等)・骨粗鬆症・突発性睡眠障害・出血性胃潰瘍

平成17年パーキンソン病発症

温泉が良いとのことで関西から別府へ転居し、一軒家を購入され独居にて生活される。パーキンソン病の薬を服用され、オンの状態になっていればご自宅内での車椅子移動やトイレもご自分で行えている。外出もセニアカーを利用し行える。

オフの状態のときは体が傾いたまま動けなかったり車椅子から滑落することもある。ベッドからの起き上がりも困難。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを開始するに当たり、ご本人様の希望としては「必要なときだけ来て欲しい」とのことで、これまでご利用されていた訪問介護の枠を定期訪問とし、その他は随時訪問で対応することとする。また、訪問看護の20時からサービスを引継ぎ、20時30分からのご依頼もあったが、人員調整でき次第の対応で良いとのことで現在調整中。

早朝のコールが頻回となり、尿汚染されていることが増加したため、4月下旬より6時の訪問を定期訪問に入れ込むことについてご提案し、渋々ではあるがご了承いただく。6時のサービス訪問時にご自分で着替えまでされていることもあればオムツ内排尿多量で全く動けない日もある。日中もコールが多くなってきており、車椅子からの滑落や、外出後ご自宅に入れられない際等の対応を随時で行っている。

オンの状態であればご自分でできることにはしっかりと取り組んでいるため、現状のサービスの使い方でご本人様も満足されている様子。最近は薬の効きが悪くなったとの訴えが多く聞かれるため訪問看護との共有ノートを用いて連携を図っている。朝6時の定期訪問も問題なく行えている。

6. 事故、ヒヤリハット、苦情、困難事例等

(令和2年2月1日～令和2年5月15日)

①事故、ヒヤリハットの状況

なし

②苦情の状況

なし

③困難事例等

なし

7. ご家族、地域から事業所への要望・質疑等

令和 年 月 日

社会福祉法人亀鶴会

24時間いつでもコール借楽園 行

(何かご意見、ご要望、ご質問等がございましたら恐れ入りますがご記入後、下記の宛先までお送りください。尚、送信票なしでこのまま FAX いただいても結構ですし、お電話でのお問い合わせでも結構です。後日改めましてご回答させていただきます。)

発 信 者 名 _____

住 所 _____

連 絡 先 _____

社会福祉法人亀鶴会

24時間いつでもコール借楽園

管理者 神宮 由香

住所 874-0904

大分県別府市大字南立石2170番地の33

TEL:0977-75-8816

FAX:0977-76-5889